

第10回福島県都市計画審議会都市政策推進専門小委員会

会議の概要

日 時：平成28年1月5日（火）10：00～
場 所：福島テルサ 3階大会議室 あぶくま

1. 開会

2. 委員長選出

○事務局案のとおり、都市計画審議会会長を務める山川委員を委員長に決定した。

3. 議題

浜通りの都市計画区域マスタープランについて

- (1) 浜通りの都市づくりの基本方針の検討
(第9回小委員会及び都市計画審議会中間報告における意見と対応)
- (2) 浜通りの都市づくりの基本方針の検討
- (3) 住民懇談会の実施方法及び内容
- (4) アンケート調査の実施方法及び内容

4. 審議内容（浜通りの都市計画区域マスタープランについて）

○「住民懇談会」や「アンケート調査」を中心に、議論が行われた。出された意見は以下のとおりである。

《住民懇談会の実施方法及び内容》

- ・いわきでは、避難者とどのようにコミュニケーションを図っていくのかという視点から、震災後、新たにいわきに居住された方も住民懇談会メンバーに含める事が想定される。
- ・分科会は、きめ細やかに意見を伺うため、4～5人程度のグループで実施した方が良いと思う。
- ・住民懇談会の構成員に、女性や若い方を多く選出して欲しい。

《アンケート調査の実施方法及び内容》

- ・調査対象市町に住民票を持つ方を調査対象者としているのか。
(事務局回答)
⇒「住み続ける方」の視点から、居住者としている。
- ・このアンケートがどのような趣旨で、どのようなことを回答して欲しいのかを明示した方が良いと思う。
- ・各設問に、「いわき地域」や「相双北地域」と明記し、当該地域のことについて答えていただくような工夫があれば良い。

- ・問1の回答者属性（職業）のうち、「農林漁業」を、「農林業」「漁業」に区分して欲しい。
- ・地域の現状、大切に残していきたいもの等の設問は、その地域に長く住んでいないと分からないかもしれないので、居住歴（現住地での居住年数）を設問に追加して欲しい。
- ・問2の現在の住まいと身近な生活環境のうち、復興公営住宅が建築される場所など、現在の選択肢では当てはまらないような方が回答できる項目を追加して欲しい。
- ・問4の定住意向の各選択肢は、「～する予定である」等の客観的な問い方にした方が良い。
- ・問5の地域の満足度のうち、「福祉施設」「自然災害に対する安全性」「犯罪発生の防止」に係る項目を追加して欲しい。
- ・問8や問9など、「子育て支援」と「高齢者福祉」が同一の選択項目となっているため、選択項目を分割して欲しい。
- ・アンケートの集計と結果の比較分析は、全体数だけではなく属性毎に実施すべきである。特に配布ルート別の回答数の多寡は全体数分析にバイアスをもたらすので、回答者の配布ルート別属性が判別できるような集計と結果分析にかかわる工夫が必要である。

5. その他

- (1) 「市街化区域及び市街化調整区域に関する都市計画の見直しの基本的事項」の見直し方針
- (2) 相馬・鹿島・原町・小高の各都市計画区域を対象とした都市計画区域再編・拡大方針
- (3) 今後の進め方について

○上記についてそれぞれ説明を行い、意見・質問はなかった。

以 上